

令和3年度自己評価・学校関係者評価 結果公表シート

学校法人八尾聖光学園 聖光幼稚園

園の保育目標幼稚園は生涯教育の第一歩です。そのため子ども一人ひとりの遠い将来を見据えた地道な教育が必要です。つまり幼児期は花を咲かせる時期ではなく、土の下に隠れていて今は見えない「根っこ」に十分な水と栄養を与えていく時期だと考えています。

本園では望ましい幼児の姿として、次の3項目を挙げています。

1. 思いやりのある子
2. 物を大切にする子
3. 自分で考えて、自分の思いを表現できる子

1. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画

昨年度同様、評価項目に沿って自己点検、自己評価を実施することで、保育者自らが客観的に自園を見る目を養い、環境全般の改善、保育内容や保育方法の改善に主体的にとりこんでいくことを目標とする。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況と評価

評価項目	取組状況	評価
幼稚園の教育課程の編成・実施に関して、教職員間の共通理解をはかる。	幼稚園教育要領の理解を全教職員で積極的に推進し、それを実際の保育に添わせるように、具体的な場面について積極的に話し合いを行っている。	A
学期ごとに各クラスの経営の成果と課題を報告する。	各クラスでその月や週の課題を提示し、対策を協議し、毎学期ごとに成果を報告し合うようにしている。	A
教育の質の向上のために、園内研修を充実させ、園外研修にも積極的に参加させる。	コロナ感染拡大のため、延期になっていた公開保育ECEQを開催し、コーディネーターや園外の保育関係者とグループに分かれ、課題を議論した。保育の質を高める貴重な意見を共有することができた。また、オンラインによるキャリアアップ研修を積極的に受講した。	A
特別支援教育	職員全員で支援を要する幼児の課題に関するカンファレンスを行い、チームティーチングの機能と充実に努めた。特別支援教育の専門家に巡回相談を依頼し、その指導・助言を参考に、支援を必要とする園児のニーズを適確に読み取るよう努力している。保護者との連携を密にし、園との信頼関係を図るよう努めている。また、臨床心理士、言語聴覚士、作業療法士、看護師等の専門職スタッフとの連携をはかっている。	A

幼保小連携	卒園児には就学前に就学予定の地域小学校への丁寧な引継ぎを行っている。教員が幼保小連携研修に参加できるよう配慮し、他園や小学校との情報交換を積極的に行った。	A
施設・環境の整備と充実	園庭に本格的な木製ログハウスを設置し、園児の想像力を刺激し、遊びの枠を広げることができた。コロナ感染予防のため、施設・遊具・おもちゃの消毒を昨年同様、徹底して行った。遊具や教室内の遊具の点検も定期的に行い、安全で豊かな園生活が過ごせるための工夫をした。	A

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
A	保育者一人ひとりが学校評価の趣旨を理解し、各自適切に自己点検、自己評価に取り組んでいる。今後も客観的な目で自らの保育を振り返り、さらに充実した実践ができるように努力を積み重ねていきたい。保育者・職員間のコミュニケーションを積極的に図り、課題の解決に向けた共通認識を持つために、毎週一定時間の職員会議を行い、概ね目標を達成できた。

「3.4.」の評価結果の表示

評価	十分達成されている	A
	達成されている	B
	取り組まれているが、成果が十分でない	C
	取り組みが不十分である	D

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
安全管理	本年は、昨年度末に引き続き、コロナ感染予防に注力した。また、巨大自然災害に対応するための避難訓練を実施した。毎日の保育は昨年同様、感染防止が要求され、緊張感を持って対応した。園での対応が充分か常に検討して対策マニュアルを更新した。
園に対する保護者の満足度の把握	本園の特色ある保育のうち園外保育は昨年よりは多く実施できたが、未だ例年どおりに実施できなかった。そのため一部の保護者の満足感も得られないのが現実であったが、感染対策の徹底については保護者の理解と満足を得ることができた。感染対策を取らざるを得ない中で、さらなる保育の質向上や運営の改善に向けて課題解決を図っていきたい。

6. 学校関係者評価委員会の意見

学校関係者評価委員からは概ね良好な運営をしているとの評価を得ている。

今年度は昨年度末に続き、新型コロナウイルス感染症拡大の影響は止まらなかったが、園の感染予防対策が徹底していたため、安心して子どもを預けることができた。例年行われている聖光幼稚園らしい園外保育は、まだ十分ではないが、昨年度よりは多く実施してもらえた。臨床心理士や作業療法士、言語聴覚士等の専門家から子育てに対する適切なアドバイスを受けることができた。子育て支援にも積極的に取り組み、保護者からのニーズに耳を傾け、早期の改善や解決に向けて積極的に取り組んでもらえているとの評価をいただいた。